

令和元年度 施策評価シート

基本目標		安心して暮らせる「すみだ」をつくる
政策	410	災害や犯罪から身を守る、安全・安心なまちとしくみをつくる
施策	412	地域で連携し、さまざまな災害に対する防災行動力を高める
施策の目標	区民、住民防災組織、地域団体、企業等の多様な地域の主体が、自発的な意思と相互の連携により、個々の事情と地域の特性をとらえた防災対策を講じ、さまざまな災害から身を守る防災行動力を身につけ、安全・安心なまちになっています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「家庭で災害時の備えができている」区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	52.2				65.0					70.0
実績	52.2									
指標名	住民防災意識等を担う防災関係団体人数									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	6,542				7,500					8,500
実績	6,542									

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
(水防対策費) 災害対策事業に係る危機管理担当との役割分担を明確にする必要がある。	H28	8,365
(水防訓練経費) 引き続き、水防活動の円滑な実施及び区民の水防意識の高揚を図るため、水防訓練を実施する。	H29	11,747
(水害ハザードマップ印刷・配付事業費) ハザードマップの全戸配付が完了したため、雨雪対応費に統合し、事業の効率化を図る。	H30	25,031

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
C	防災行動力の向上に向けて、適切な雨雪対応を実施するとともに、事業の統合により効率的な運営を図る必要があるため。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
気象警報発表時等に道路のパトロールや除雪活動等を実施し、雨雪によるリスクを軽減するとともに、ハザードマップの配付や土のうステーションにより、区民等の防災行動力の向上を図る。	
【今後の具体的な方針】	
<ul style="list-style-type: none"> ・雨雪対応、水防訓練、ハザードマップの配布を継続して実施する。 ・土のうステーションの維持管理を適切に実施するとともに、土のうの利用数増加に向けて、区民への効果的な周知方法を検討する。 	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	施策への関連性	目的に対する指標	
						年度目標値	直近の評価内容
						年度実績値	評価結果 評価対象年度
1	水防対策費 【事務事業評価対象外】	6,050	11,812	17,862		150	改善・見直し
						86	平成30年度
2	水防訓練経費 【事務事業評価対象外】	3,134	10,828	13,962		140	現状維持
						145	平成30年度
3	水害ハザードマップ印刷・ 配付事業費 【事務事業評価対象外】	15,847	6,890	22,737			統合
							平成30年度
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							